



# 議会報告会 開催概要 2019

Outline of City council's briefing session on citizens' meeting



釧路市議会  
— City Council of Kushiro —

# 目 次

2019 年度(令和元年度) 議会報告会開催概要 .....	1
会場別開催概要 .....	3
中央図書館 .....	5
緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター .....	11
東部地区コミュニティセンター (コア大空) .....	18
阿寒町公民館 .....	21
アンケート集計結果 .....	27
(参考資料) スライド .....	33

# 2019 年度(令和元年度) 議会報告会開催概要

釧路市議会は、市民に開かれた議会を目指して、平成 23 年に「釧路市議会基本条例」を制定しました。本条例では、市民に対し議会が持っている情報を積極的に発信して説明責任を十分に果たさなければならないこと、議員と市民が情報や意見を交換する場をより多く設けるよう努めることなどを定めており、その一環として開催するのが「議会報告会」であり、本取り組みは今年で 9 年目となります。

## 【開催日程】

今年度は、平成 30 年 8 月に児童館と地区会館の複合施設としてオープンした「緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター」など、市内 4 会場で開催しました。

開催日	開催時間	会場
10 月 29 日(火)	10:30~12:00	中央図書館
10 月 30 日(水)	18:30~20:00	緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター
10 月 31 日(木)	18:30~20:00	東部地区コミュニティセンター (コア大空)
11 月 1 日(金)	18:30~20:00	阿寒町公民館

## 【プログラム】

議長（副議長）による開会挨拶、議会改革の取り組みの紹介に引き続き、9 月定例会の概要として、日程、主な質疑・一般質問、各委員会の主な審査内容及び審議結果を報告した後、参加者との質疑応答、意見交換を行いました。

- 
- 1 開会挨拶
  - 2 議会改革の取り組み紹介
  - 3 9 月定例会の報告
    - (1) 日程
    - (2) 主な質疑・一般質問（6 項目）
    - (3) 各委員会の主な審査内容
      - ・ 総務文教常任委員会
      - ・ 経済建設常任委員会
      - ・ 民生福祉常任委員会
      - ・ 石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会
      - ・ 都心部市街地整備特別委員会
    - (4) 審議結果
  - 4 質疑応答、意見交換
  - 5 閉会挨拶



# 会場別開催概要

---



# 中央図書館

開催日時	2019年(令和元年)10月29日(火) 10:30~12:00
会場	7階多目的ホール
参加人数	22人
出席議員	松永 征明 議長 山口 光信 議員 (議会運営委員会委員) 佐藤 勝秋 議員 (総務文教常任委員会委員) 大澤 恵介 議員 (経済建設常任委員会委員長) 宮田 団 議員 (民生福祉常任委員会委員) 月田 光明 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員長) 草島 守之 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員長) 河合 初恵 議員 (議会広報特別委員会委員長：司会)

質問	以前、市有地に設置されている政党の看板について指摘したところであるが、今年実施された国政選挙においても看板が設置されていた。このことについてどう思うか。
佐藤議員	看板については情報があるたびに選挙管理委員会に伝え、各政党に対し指導してもらっているが、なかなか撤去されない状況が続いている。今後も早急に対応するよう申し伝えていく。
意見	町内会員の方が生活保護を受けることになり、私と地域の民生委員でサポートしているのだが、障がいを持っていると生活保護費に加算があるということを初めて知った。困っていてもそれを言えない市民がいると思うが、行政も全てを把握できるわけではないので、日ごろ地域に根差した活動をしている議員の皆さんも、そのような住民がいれば情報を寄せてほしい。
意見	道東の経済を引っ張る産業をつくる上で、と畜場の建設について市に提言してもらいたい。

<p><b>大澤 議員</b></p>	<p>と畜場の整備については標茶町において計画されていたが、施設排水による下流域への影響について理解が得られず中断している状況である。この問題に関しては北海道を中心に議論されるものと考えているが、さまざまな団体との協議が必要であり、現状において釧路市が積極的に手を挙げる環境にはないものと考えている。</p>
<p><b>松永 議長</b></p>	<p>と畜場は釧根地域の農業の発展、また食料生産においてもなくてはならない施設であるが、今はオリンピックを控え建築資材等が高騰している状況にあり難しい。オリンピックが終わり一段落すれば、もちろん国や道、各市町村の協力も必要ではあるが、また進展していくものと考えている。</p>

<p><b>意 見</b></p>	<p>釧路駅地下道北口に設置されている昇降機が、だいぶ前から故障したままになっており、足が不自由な人にとっては階段の上り下りが大変だし、排水ポンプが止まると水浸しになってしまう。地上に道路を持ってくるか、せめて昇降機だけでも早く直してほしい。</p>
<p><b>草島 議員</b></p>	<p>駅周辺再整備については時間がかかる問題だが、今必要とされている地下道は安全な通路として利用できるようにしなければならない。昇降機と水たまりの問題については早急に対応したい。</p>

<p><b>意 見</b></p>	<p>中央図書館の専用駐車場が満車だったので、市役所の駐車場に車をとめてきたが、同じように市役所や交流プラザさいわいなど離れた場所に駐車して来館する利用者が多いと思う。立体駐車場を設置したほうがよかったのではないか。</p>
<p><b>佐藤 議員</b></p>	<p>図書館を移転する際に、駐車場の確保については議会においても市とさまざまな議論を重ねた上で、現在の形に落ち着いた経過がある。今ここでどうするということはいえないが、市民が利用しやすい環境をつくるという観点から、駐車場の問題についても今後また議論を進めていきたい。</p>



意見	<p>私が住んでいる南大通地区は人口が減少して空き地や空き家が多くなっている。先日警察から、人と交通量が減っているので、車の流れを良くするために信号機を何カ所か撤去したいとの申し出があった。地域の各町内会長が集まって話し合った結果、現状のままでお願いしたいと警察には伝えたのだが、議員の皆さんにもこういった問題が出てきているということを確認してほしい。</p>
宮田議員	<p>最近は高齢者に関わる交通事故が大きな問題になっており、子どもたちの通学における安全面を考えても信号機は必要と考えることから、地域の声をしっかり市の担当部署に伝えて警察のほうに要望を上げてもらう形で、市議会として努めていきたい。</p>

質問	<p>若い人たちは学校を卒業すると札幌や東京などに行ってしまうが、彼らに釧路で働いて定着してもらうことがまちの活性化につながると思うので、この点についての具体的な動きを今後の方向性も含めて聞きたい。</p>
佐藤議員	<p>若い人たちが釧路に魅力を感じて就職してもらう環境が必要であり、そのためには地元企業とその仕事の魅力を知ってもらうことが必要である。それには地元企業が元気でなければならないので、ビジネスサポートセンターk-Bizをはじめとした中小企業支援を行っている。また、国際バルク戦略港湾の利用が今後さらに促進されていくことで投資と雇用が増えることが考えられ、粘り強くさまざまな対策を講じている。釧路には公立大学や教育大学など教育機関が集積し全国の若者が集まっており、これを生かさない手はないと思っているので、今後も若い人たちがいかに釧路に残るかということ重要なテーマとして市と議論していきたい。</p>

意見	<p>駅が現在の状況では釧路のイメージとしても良くないので、具体的なスケジュールをつくって取り組みを始めてほしい。</p>
----	---

草島議員	<p>北大通を軸とした都心部を開発する上で要となるのが駅周辺の再整備であり、駅周辺をゲートウェイと位置付ける都心部まちづくり計画事業構想編のコンセプトを今年度中に取りまとめる予定である。一方、駅周辺の再整備は、JR花咲線と釧網本線の両線が存続してこそ進めていくものであるが、この見通しがまだ確定していない状況であるので、もう少し見守っていただきたい。</p>
------	---

意見	<p>全市的に空き地や空き家が多い地域が増えてきているのではないかと思うが、防犯などいろいろなところに影響する問題なので、対策に力を入れてほしい。</p>
----	---

大澤議員	<p>市は空き家等の除却費の一部を補助したり、人口減少への対応としては各拠点に都市機能や居住を集約するコンパクトなまちづくりなどさまざまな努力をしているが、空き地の問題に関してはなかなか手立てがない。まずはしっかりと地域経済の活性化を図りながら、人口減少を止めることは不可能だが減少のスピードを緩やかにすることは可能だと思うので、そのために市議会としてしっかりと取り組んでいきたい。</p>
------	---

質問	<p>災害時の避難施設における備蓄状況を聞きたい。</p>
----	-------------------------------

佐藤議員	<p>基本的には3日間分の食料や飲料水等を備蓄しているが、最近の今までには考えられないような豪雨災害や洪水による被害を踏まえた上では、市議会においても今の防災体制で本当にいいのか議論していかなければならないと強く思っており、今後もより市民の皆さまに安心していただけるような防災や避難情報の提供の在り方について議論を進めていきたい。</p>
------	---

意見	<p>市立病院は、総合病院なのだから何か調子が悪くて行けばすぐに診てもらえるという感覚を持っている市民は多いが、実際は地域の</p>
----	--

	<p>病院からの紹介状を持参しなければ受診できない。普段から病院にかかっていないと、このようなことは分からないのではないか。</p>
宮田議員	<p>市立病院は道東地域の拠点病院として高度医療を担っており、地域の病院や診療所などとの機能分担を図るために予約制・紹介制を実施しているが、そのことを市民の皆さまにしっかり周知するよう市に伝える。</p>

意見	<p>市内では港まつりをはじめとしてさまざまな行事が開催されるが、行事の日程がぶつかることがあり、町内会の役員や交通安全指導員などを担っている立場としては大変である。行事の日程がぶつからないように調整することができないか。</p>
大澤議員	<p>日程が固定されているイベントについては観光コンベンション協会などで把握しているので、他のイベントと重なるのを避けることは可能である。主催者の方から問い合わせさせていただいて、日程を調整していただければありがたい。</p>

意見	<p>市内ではさまざまなボランティア団体が地道に活動されているが、若い方が入って来ず高齢化している。そうした地域活動が活発なところは豊かなまちだと思っているので、議員の皆さんにもそうした社会教育の在り方について考えていただきたい。また、今までの広報の仕方では関心を持たれることが少ないので、違う角度で考えを広めるなど、自分自身の問題として捉えて参加してもらえよう強く打ち出してほしい。</p>
----	--

意見	<p>企業誘致と、水産資源のふ化事業を進めてほしい。</p>
大澤議員	<p>企業誘致については市も懸命に取り組んでおり、k-Biz もそうだし、国際バルク戦略港湾の関係では家畜用飼料の新工場が完成したりと、さまざまな取り組みの効果が出てきていると考えている。一方、他都市では多額の補助金を投じて誘致した工場がわずか数年で</p>

撤退する事例もあり、企業誘致の在り方については難しい面もあるが、地元で根差して活動してくれる企業の誘致は非常に重要であると考えているので、今後においてもしっかりと取り組んでいきたい。

また増養殖に関しては、雑海藻を駆除してコンブの育成を助けたり、シシャモのふ化事業を支援したり、市もさまざまな取り組みを行っている。他都市では陸上養殖や、根室市ではベニサケの海面養殖を始めたりと、日本全国でさまざまな試みがされているので、水産庁などとも協力しながら今後も取り組んでいきたい。

## 緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター

開催日時	2019年(令和元年)10月30日(水) 18:30～20:00
会場	集会室1
参加人数	16人
出席議員	<p>松橋 尚文 副議長</p> <p>森 豊 議員 (議会運営委員会委員)</p> <p>松尾 和仁 議員 (総務文教常任委員会委員長)</p> <p>梅津 則行 議員 (経済建設常任委員会副委員長)</p> <p>伊東 尚悟 議員 (民生福祉常任委員会委員長)</p> <p>西村 雅人 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員)</p> <p>岡田 遼 議員 (都心部市街地整備特別委員会副委員長)</p> <p>工藤 正志 議員 (議会広報特別委員会副委員長：司会)</p>

意見	<p>都心部市街地整備特別委員会の報告の中で出た「ゲートウェイ」という言葉は、日本語で解説を入れないと市民は分からないのではないか。</p>
岡田議員	<p>分かりにくい記載の仕方で申し訳なく思っている。</p> <p>釧路都心部まちづくり計画基本構想編では、都心部を各地域の特性を踏まえて8つの区域に分けて、玄関口となる駅周辺区域については出入口を意味する「ゲートウェイ」として位置付けている。</p>

意見	<p>私は英語の講師をしているが、日本語をととても大事にしており、子どもや学生に和訳させるときにも言葉の表現には注意している。市や市議会が出すものでも分かりやすい説明が必要であり、そのように日本語を大事にしてほしい。</p>
松橋副議長	<p>行政用語には市民の皆さまからすると難しく分かりにくい言葉が多いが、市議会の広報事業として開催する報告会であるにもかかわらず、分かりづらい言葉を使ってしまったこととお詫びしたい。</p> <p>今いただいたご意見を踏まえて今後も分かりやすい議会広報の在り方を考えていくとともに、議会における議論の中でも分かりや</p>

	<p>すい言葉遣いを意識することにより、傍聴者にとっても理解しやすい議会にしていきたい。</p>
--	--

意見	<p>学校給食センターの建て替え計画について、給食センターが1カ所しかなければ災害や食中毒が発生した場合に給食を提供できなくなってしまうので、複数箇所での建設を考えてほしい。</p>
----	---

松尾議員	<p>各学校給食センターの老朽化が進んでおり、以前からずっと議会においても質問がされているが、なかなか行政側から具体的な方針が出てこない。</p> <p>国から千島海溝沿いの巨大地震による津波想定がいまだ示されていない中で、津波の影響がない建設地の検討を含めて議論はまだこれからという状況であるが、児童・生徒へ安全な給食を提供するために現在の給食センターの維持管理に十分配慮しながら、引き続きしっかりと議論を進めていきたい。</p>
------	--

意見	<p>緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンターは、グラウンドに遊具がないし、フェンスが低いのでボール遊びもできない。他の場所で子どもたちを遊ばせるために職員が一人外出してしまうと館内の目が行き届かなくなるので、児童厚生員を増員をするとともに、下校後の遊び場の提供ということも児童館の在り方として考えてほしい。</p>
----	--

伊東議員	<p>子どもたちが運動できる環境をしっかりとつくっていくべきであり、現在の状況を確認した上で、今後どのように改善できるか議論していきたい。</p> <p>また、児童厚生員の欠員の問題に関しては以前から指摘しているところであるが、引き続き議論していきたい。</p> <p>地区会館と児童館の複合施設は今後他の地区でも建設する予定なので、利用者の要望などの聞き取りをどのように行っているのかチェックしていきたい。</p>
------	--

意見	<p>貝塚のほうから道路を上がってくると、ちょうどふれあいセンターの手前からカーブになっているので先が見えづらい。この辺は児童や高齢者の通行が多いので、ふれあいセンターの前に信号機を設置してほしい。</p>
伊東議員	<p>信号機の設置については、まず町内会から市の市民生活課に要望として上げていただいた上で、市民生活課から信号機を設置する権限がある警察のほうに伝えるという仕組みになっている。交通量などの厳しい設置基準に基づき道警が判断することから、要望が通るには難しい面もあるが、今回の信号機の検討状況については調べたい。</p>

意見	<p>9月に関東を直撃した台風の影響で、千葉県を中心に想定外の被害が発生したが、近年の異常気象に対して、鉦路市が現在作成しているハザードマップで大丈夫なのか不安に思っている。</p>
松尾議員	<p>議会では東日本大震災以降、継続して津波や避難所に関する議論をしてきているが、最近は洪水や河川の氾濫について議論する場面が多くなっている。広報くしろ9月号に阿寒川の洪水ハザードマップが掲載されたが、実際に災害が起こり得るという想定の下、必要に応じたハザードマップや避難方法の見直しについて、今後もしっかり議論していきたい。</p>
梅津議員	<p>洪水ハザードマップは、鉦路川と別保川は24時間当たり387ミリメートルの雨量、新鉦路川は毎秒2,100立方メートルの流量、具体的には大正9年に発生した鉦路川の最大洪水の降雨と流量の約2倍を想定して作成されている。</p>
森議員	<p>弟子屈町や標茶町で鉦路川が氾濫しても、鉦路湿原の遊水効果のおかげで鉦路市は被害を免れているが、近年全国各地で発生している水害を踏まえて、北海道開発局も対策を見直そうとしている。国は現在、南海トラフ地震、首都直下地震に次いで、日本海溝と千島</p>

	<p>海溝で発生する巨大地震の想定見直しを進めており、今後、津波の高さなどの想定が公表されるものと考えている。</p> <p>また市では、あらかじめ登録した携帯電話などに災害時の避難情報を知らせるサービスを行うこととしており、土砂災害については警戒区域ごとに登録することが可能である。</p>
--	--

<b>意見</b>	<p>車を運転しているときに、街路樹に茂った葉のせいで信号機が見えづらいところが多々ある。高木の植樹は信号機からもっと離れた場所までとしたり、信号機に近い場所には低木を植栽するなどしてはどうか。</p>
<b>梅津議員</b>	<p>ご意見については、すぐに市の担当課に伝える。</p>

<b>意見</b>	<p>ふれあいセンターから貝塚のほうに下る坂道で車がスリップしていたことがあったので、ロードヒーティングを設置してほしい。</p>
<b>伊東議員</b>	<p>非常に危険な状態であることが分かったので、要望として市の担当課にしっかり伝える。</p>

<b>意見</b>	<p>ふれあいセンターでは、児童館の子どもたちは地区会館部分に入ってはいけないことになっている。それぞれの所管課が違うためだと思うが、災害時などに両者が円滑に連携できるようにしてほしい。また、玄関が一つしかないので、防犯上、下駄箱には子どもたちのフルネームを書かずに下の名前だけ書いている。出入りする業者などが分からずに非常階段から入って来たりすることもあり、防犯上の不安がある。</p>
<b>伊東議員</b>	<p>建設時には子どもたちを外部からの不審者から守るために管理を分けなければならないという議論はあったが、複数の所管課にまたがる施設なので、管理の仕方をしっかりと確認していかなければならないと考えている。</p>



質 問	公衆トイレが減っているが、散歩をしているときなど困る。今後も減らしてくのだろうか。
梅津議員	経費を縮減するためにさまざまな削減をしてきているが、今後もさらに続けて対象を広げていくのかどうか、改めて次回の議会において確認したい。
松橋副議長	公園に設置しているトイレについては、コンクリートブロック造りのような古いトイレは、撤去するのか、やはり必要だということ建て替えをするのか、地域住民や町内会と協議の上で決めているところが多い。仮設トイレを設置している公園も以前はかなりあったが、使用しているのがトラックやタクシーの運転手がほとんどで、地域住民にとっては必要がないということから撤去しているところもある。

意 見	石炭火力発電所の建設は、今後廃止していこうとしている世界的な流れと逆行している。釧路コールマインに4億円もの貸し付けをするのであれば、もっと違うことに使ってほしい。
西村議員	貸し付けに関する議案は9月定例会の直前に提出されたもので深く詰めることができなかった。次回の12月定例会において市に問いただしていききたい。
森議員	火力発電所は、石炭と木質燃料を混焼することにより二酸化炭素排出量の低減を図ることとしており、環境基準を全てクリアした上で計画を進めている状況である。

質 問	北大通の空洞化が進んでいるが、市は都心部をどのように整備していこうと考えているのか。
-----	--

<p><b>岡田 議員</b></p>	<p>都心部まちづくり計画基本構想編では、都心部を商業、行政、居住など各エリアの特性を踏まえて設定した各ゾーンにおいて展開する施策の方向性を整理しており、これに基づき今後施策の具体化に向けて議論していく。整備事業完了までは大変長い期間を要するわけであるが、民間事業者などと連携して可能なものから順次実施していくということなので、その進捗状況を踏まえながらしっかり進めていかなければならない問題だと考えている。</p>
---------------------	--

<p><b>意 見</b></p>	<p>3年前に観光立国ショーケースとして金沢市、長崎市とともに選定されて、これが一つの転機になると思っているが、早急に中心市街地の活性化を進めていかなければならないのではないかと。来年は東京オリンピックが開催され、海外から多くの旅行者が来ることが予想されるので、釧路駅から幣舞橋にかけて周辺地域を整備して、多くの人が訪れるまちにしてほしい。</p>
<p><b>岡田 議員</b></p>	<p>中心市街地に人を呼び戻すということは大変難しい問題であるが、市が推進しているコンパクトなまちづくりも含めて、今後どのようなまちづくりができるか総合的に考えていかなければならない。</p>
<p><b>松橋副議長</b></p>	<p>中心市街地の活性化はどこの地方都市でも抱えている問題である。人口減少に加え、普段自分たちの生活圏で買い物、通院、通勤している中で、中心市街地にはほとんど行く機会がないのではないかと。そのような現状の中でどうやって中心市街地を活性化していくのか、空きビルの解消、公共交通の在り方、駐車場の確保も含めて、議会と行政は議論を続けている。北大通を中心とする市街地で頑張っている店もたくさんあり、祭りなどイベントがあるときだけではなく、買い物などで普段から北大通に出向くよう心掛けることが大切なのではないかと思うので、市民の皆さまのご協力をお願いしたい。</p>
<p><b>梅津 議員</b></p>	<p>平成30年度の観光入込客数は約530万人と5年前と比べて100万人以上増えており、外国人宿泊客数も約6万人増えている。最も</p>

	<p>多いのが台湾からの客であり、市は阿寒湖のマリモが縁で記念事業などを行っており、市議会の中でも日台友好促進議員連盟を設立するなど交流に取り組んでいる。また、市の観光施策が地元の雇用にどれだけつながっているか来年にかけて調査することとしており、そういったことも含めて総合的に取り組んでいる。</p>
--	--

意見	<p>若者が釧路に定着するために企業誘致などの対策をしてほしい。</p>
松尾議員	<p>地元企業の仕事を体験できるイベントを開催したり、釧路で働きたい方と企業との就職マッチング事業を行うなど、行政も地道に取り組みを進めており、市議会としてもしっかり議論していきたい。</p>

## 東部地区コミュニティセンター（コア大空）

開催日時	2019年(令和元年)10月31日(木) 18:30~19:30
会場	学習室兼会議室 A・B
参加人数	8人
出席議員	<p>松橋 尚文 副議長</p> <p>大越 拓也 議員（議会運営委員会委員）</p> <p>村上 和繁 議員（総務文教常任委員会委員）</p> <p>畑中 優周 議員（経済建設常任委員会委員）</p> <p>板谷 昌慶 議員（民生福祉常任委員会委員）</p> <p>秋田 慎一 議員（石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会委員）</p> <p>粟屋 剛 議員（都心部市街地整備特別委員会委員）</p> <p>河合 初恵 議員（議会広報特別委員会委員長：司会）</p>

意見	「ボランティア用ごみ袋」に関する質問について報告があったが、連合町内会からも環境美化用ごみ袋が配布されているので、これらを統一して作成すれば経費が安く済むのではないか。今回「ボランティア用ごみ袋」というものがあると分かったが、各支所でも配布してほしいし、さらにPRしてほしい。
秋田議員	統一しての作成、各支所における配布も含めて、市の担当課に伝える。

意見	街路灯の安全性確保に関する質問について報告があったが、耐用年数が近づいた街路灯について、議員自身で点検に回ったことがあるのか。釧路市は特に海霧が発生することが多く、他都市と比較して街路灯が錆びやすいので、アルミ製などにしてはどうか。
畑中議員	議員は町内会の会長や役員を務めている者が多く、自分の居住地の街路灯は気にして見ていると思う。アルミ製の街路灯への交換についてのご意見は市の担当課に伝える。

意見	桜ヶ岡5丁目のロケット公園（学園台3号公園）のトイレはまだ水洗化されておらず、また目隠しの塀が傾いているため、2年間もトラロープを張って封鎖したままである。また、公園から白樺台に向かう通りの歩道の舗装が傷み、高齢者が転倒するなど非常に危険な状態である。
畑中議員	市の担当課に確かに伝える。

意見	街路灯を管理するシステムをつくって、耐用年数が過ぎた街路灯を順次更新していけばよいのではないか。
畑中議員	市道に設置している道路照明灯については、現在は市の担当課職員による目視点検や専門業者による打音検査を行い、不具合のあるものから更新している状況である。点検や更新については計画的に行っていくよう担当課に伝える。

意見	LEDの街路灯を更新する場合、費用の1割、1灯当たり5,000円まで市から補助されるが、更新費用は1灯当たり約2万円なので補助は2千円くらいである。しかし、補助申請をするには2回は市役所に行って手続きをしに行かなければならず、バス賃であれば合わせて1,600円くらいかかってしまう。街路灯の設置については本来行政が全部負担すべきものを、財政的な問題で各町内会が負担しているのだから、もっと現実的な補助率に改定してほしい。
秋田議員	私たちのほうでも改めて調査した上で市の担当課に申し入れしたい。

意見	東京オリンピックのマラソンが札幌で開催されるかもしれないとの報道があったが、8月初旬の港まつりと開催日が重なった場合、外国人も含めた観光客はみんな札幌に行ってしまうので、港まつりの開催日程について改めて検討すべきではないか。
----	--

<b>村上議員</b>	<p>これまでも市議会ではパラリンピック選手団の事前合宿の誘致などさまざまな議論をしてきた。マラソンと競歩の札幌開催についてはまだ最終的な形が見えていないところであるが、今いただいたご意見については市の担当課に伝える。</p>
-------------	---

<b>意見</b>	<p>公園の遊具が長期間壊れたままになっていたり、桜ヶ岡や白樺台の道路は状態が悪かったりと、市が言うような住みよいまちづくりは全く進んでいないと感じる。それと公園には高齢者向けの健康遊具を設置してはどうか。</p>
-----------	---

<b>畑中議員</b>	<p>市は平成 26 年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の改築や維持修繕を進めているところである。高齢者向けの健康遊具の設置については市の担当課に伝える。</p>
-------------	---

<b>村上議員</b>	<p>市ではまちづくりの基本構想と共に、道路や公園等に関する個別の都市計画を策定しているので、そういったところに市民の皆さまのご意見が盛り込まれるよう市議会から提言していきたい。</p>
-------------	---

<b>意見</b>	<p>市民の代表として選ばれた議員に、こうした議会報告会で出された意見を行政に上げてもらうのも一つの手段だと思うので、もっと回数を多く開催してはどうか。</p>
-----------	--

<b>河合議員</b>	<p>議会報告会は年一度の開催としているが、その他に、昨年度は消防団と阿寒農協女性部、今年度は音別町の北のヴィーナス発見隊と、まちづくりについて意見交換会を開催している。</p>
-------------	---

<b>松橋副議長</b>	<p>その他に各常任委員会で所管事項の関係団体と意見交換会を開催している。議会報告会の回数については今後、議会広報特別委員会において議論していきたい。</p>
--------------	---

## 阿寒町公民館

開催日時	2019年(令和元年)11月1日(金) 18:30~19:50
会場	視聴覚室
参加人数	23人
出席議員	松永 征明 議長 三木 均 議員 (議会運営委員会委員長) 高橋 一彦 議員 (総務文教常任委員会副委員長) 酒巻 勝美 議員 (経済建設常任委員会委員) 松原 慶子 議員 (民生福祉常任委員会委員) 続木 敏博 議員 (石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会副委員長) 金安 潤子 議員 (都心部市街地整備特別委員会委員) 工藤 正志 議員 (議会広報特別委員会副委員長：司会)

質問	9月定例会の「小学校における市立博物館が果たす社会的役割」という質問の中で、平成30年度に社会見学などで博物館を利用した小学校は10校ということであったが、阿寒町から行く場合は片道1時間、阿寒湖畔の場合は片道2時間かかる。そういった地理的な事情も考慮した上で、実績として納得したのか。
高橋議員	阿寒地区と音別地区の小学校が利用する場合、距離とその移動にかかるバス代、授業の内容、利用する時間帯といった問題があり、今後どのように取り組んでいくかが課題である。

質問	現在、音別町から選出されている議員がいない状況だが、市議会としては今後こういった形で地域の意見を吸い上げていこうと考えているのか。
松永議長	人口が少ないとはいえ、音別町の方も選挙に出られるべきだと考えている。

意見	どこの自治体でも同じことだが、へき地の整備が進んでいないし、議員もへき地までしっかり見ているわけではない。もっと勉強するべきではないか。
高橋議員	合併した当時、釧路地区より先に、阿寒湖畔のまりむ館の建設や学校の建て替え、音別地区では行政センターの建設などを最優先に行った。ただ、各議員が釧路市全体を見ることは難しいので、投票した議員に要望したり、市政懇談会において意見を伝えたりしてほしい。

意見	これから4年かけて、今後の選挙や人材をどのようにするか、市議会の中で十分協議してほしい。
三木議員	確かに音別町選出の議員はいないが、市議会の中で音別町が抱える問題に触れられていないかというところではなく、一般質問や委員会審査の中で毎回と言っていいほど議論されている。地元の議員がいらないからといって、その地域の問題が全く議論されないということではない。

意見	都心部市街地整備特別委員会の報告において、釧路都心部まちづくり計画における「ゲートウェイ」の機能に関する議論について紹介があったが、日本語で分かりやすく言うようにしてほしい。
金安議員	釧路都心部まちづくり推進協議会というところで検討されて出てきた文言であるが、市民の皆さまにとって分かりやすい説明をするよう申し伝える。

意見	来年開催される東京パラリンピックのことが話題になっているが、宿泊施設の浴室は足の不自由な人にとっては入りづらいので、対策を講じてほしい。
----	--



酒巻議員	市はバリアフリー化を進めているが、これは行政だけでできるわけではなく、特に宿泊施設の関係者の理解と協力が必要である。そういった点も含めて市の担当課にご意見を伝えたい。
------	---

質 問	阿寒診療所の内科医がよく変わるが、診療所が今後どうなっていくのか聞きたい。
-----	---------------------------------------

松永議長	全国市議会議長会の全国自治体病院経営都市議会協議会において、地方病院の実情というものを訴えながら、国民の生命を守る上で国の力が大事であり、医者が地方にも回って来るような制度や仕組みをつくってほしいということで話をしており、国のほうにも要請をしているところである。今後も引き続き行政センターや診療所とも話し合っていきたい。
------	--

意 見	市立病院に行くまでの市街地の道路が複雑で行きづらい。新棟建設が延期されたが、山花や桜田に移転してはどうか。
-----	---

高橋議員	市立病院は釧路・根室圏の拠点病院となっており、交通網もそうだが、津波の影響を考慮するなど、さまざまな問題が出てくる。
------	--

三木議員	新棟建設に関する議会議論の中でも交通アクセスの問題は出ているが、市としては、既存棟の一部を残置し活用することによって経費を節約しなければならず、現敷地内で建て替えを行うことが最適であると説明している。
------	--

意 見	病院の医師確保についてだが、平成 16 年に厚生労働省が研修医が大学病院に残らなくなるシステムにしてしまったために、大学病院の医局から研修医がいなくなってしまった。そういうことを勉強して、今後どういうふうにすればいいのか、根本から考え直さなければならないのではないか。
-----	--

	<p>合併して十数年経つが、阿寒町や音別町が粗末に扱われているわけではない。釧路地区の道路のほとんどが簡易舗装だが、その点では阿寒地区の舗装率のほうがずっと良い。阿寒地区には箱物だけではなく上下水道にもかなりお金が使われている。議員の皆さんは自信を持ってそう答えてほしい。</p>
--	--

意見	<p>和商市場や北洋日生ビルの裏など市街地には一方通行の道路が多いが、釧路以外のナンバーを付けている車が逆走しているのを見かけるので、道路標識を立てるなど分かりやすくしてほしい。</p>
酒巻議員	<p>標識は立っているのだが、市外から来た方がそれを確認せずに通るということは釧路市に限らずある。より分かりやすくする方法がないのか、そういったご意見があったことを市の担当課に伝える。</p>

質問	<p>大漁どんぱくに行った際に、途中で歩けなくなった高齢者がいたのだが、観光国際交流センターに車椅子を借りようとしたところなかったらしく、結局近くのホテルから借りた。センターに車椅子は置かないのか。</p>
金安議員	<p>観光国際交流センターには確かに車椅子が設置されているが、設置場所や利用方法など、利用者にとって分かりやすくするよう市の担当課に伝える。</p>

質問	<p>阿寒川水系には4つの水力発電所が設置されているが、胆振東部地震のブラックアウトの際にはどうなっていたのか。市議会として北海道電力の職員を呼んで検証等を行ったのか。</p>
三木議員	<p>市議会の中でも釧路地域の火力発電所や水力発電所から送電できないのかという質問が出ていたが、北海道電力からは、阿寒川水系の発電所の発電量はそれほど多くはなく、また電気は体系的に送</p>

	電するものなので発電所から近隣地域に直接送電できるわけではないという説明を聞いている。
--	---

<b>意見</b>	9月の台風では千葉県内でも大規模停電が発生したが、市議会としても送電の仕組みや風力やソーラー発電なども含めて、専門的な勉強を行ってみてはどうか。
-----------	--

<b>工藤議員</b>	所管委員会などでしっかり勉強しながら議論を進めていきたい。
-------------	-------------------------------

<b>意見</b>	電線がよく立ち木に引っかかっているが、しっかり管理するように市から北電に要請してほしい。
-----------	--

<b>質問</b>	市は今後の経済基盤として観光振興を重点的に進めていくようだが、市議会としてもそのように考えているのか。
-----------	---

<b>酒巻議員</b>	鉏路市は国から観光立国ショーケースとして選定され、インバウンド（訪日外国人旅行者）の誘客を図っている。観光を今後のリーディング産業として推進していくことに異論はないが、観光だけではなく、地元の基幹産業や中小企業の振興なども大切である。
-------------	---



# アンケート集計結果

---



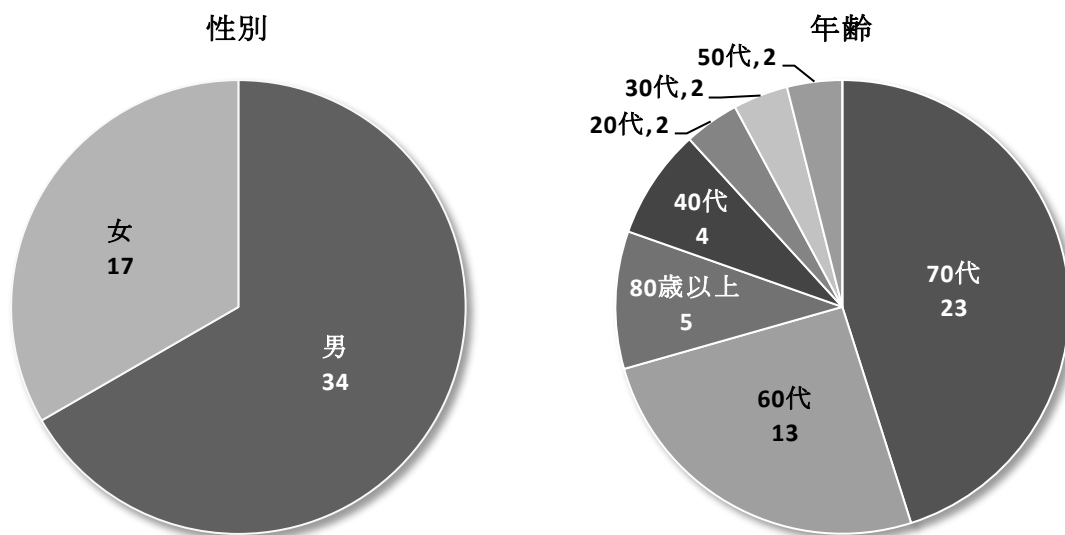
## 会場別参加者数

日	会場名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
10月29日(火)	釧路市中央図書館	22	40	-
10月30日(水)	緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンター	16	-	-
10月31日(木)	釧路市東部地区コミュニティセンター(コア大空)	8	-	5
11月1日(金)	阿寒町公民館	23	-	13
	釧路市役所本会議場	-	-	4
	釧路市男女平等参画センター(ふらっと)	-	-	4
	釧路市鳥取コミュニティセンター(コア鳥取)	-	10	12
	釧路市中部地区コミュニティセンター(コアかがやき)	-	20	6
	釧路市労働者福祉センター(サンライフ釧路)	-	-	-
	音別町コミュニティセンター	-	19	10
	合計	69	89	54

今年度の参加者数は合計 69 人、昨年度比 20 人の減であった。

会場別では、中央図書館は 18 人減、コア大空と阿寒町公民館は、一昨年度に開催した前回と比べてそれぞれ 3 人と 10 人増。今年度に初めて開催した緑ヶ岡・貝塚ふれあいセンターには 16 人の参加があった。

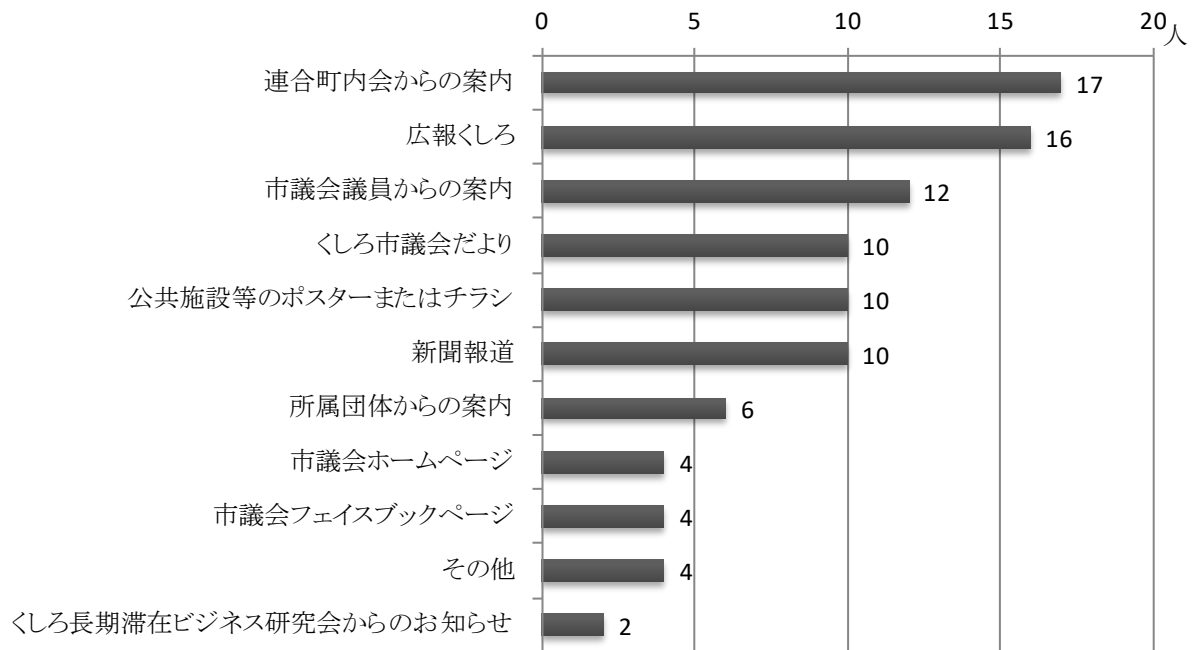
アンケートは、参加者 69 人のうち 51 人から回収した。以下、会場全体を通してのアンケート結果について報告する。



男性の割合が 67%と多く、昨年度は 43%であった女性の参加者の割合が減った。

年齢は 70代と 60代が多いのは昨年度と同様である。昨年度は 6人ずついた 20代と 30代の参加者が減った。

議会報告会の開催を知ったきっかけは何でしたか。(複数回答可)

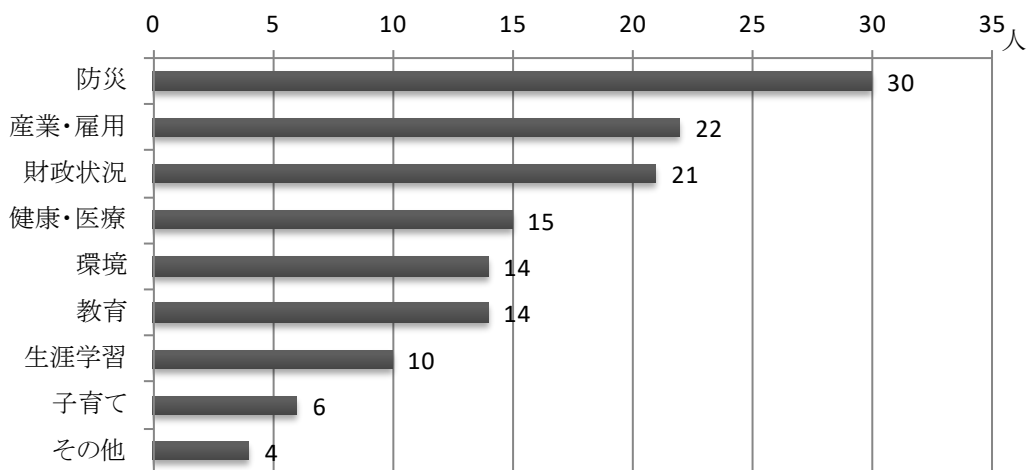


報告会の開催を知ったきっかけは、「連合町内会からの案内」が最も多く、次いで「広報くしろ」、「市議会議員からの案内」の順に多かった。

また、今年度初めて実施した「くしろ長期滞在ビジネス研究会」を通じての案内で知った参加者も2人いた。

「その他」の内容としては、「市議会議員のSNS」などであった。

ふだん市政に関して、関心のあることは何ですか。(3つまで)

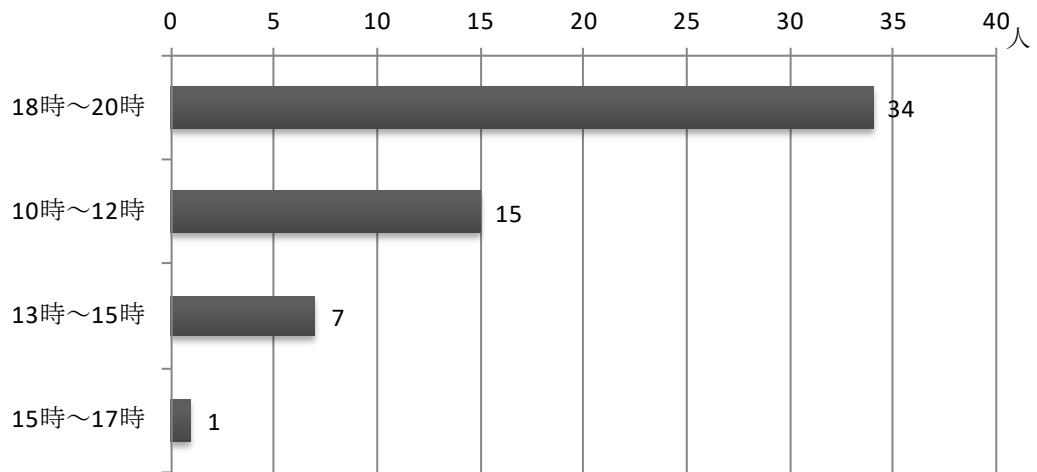


市政に関して興味のある事項は、「防災」が最も多く、次いで「産業・雇用」、「財政状況」の順に多かった。

「その他」の内容としては、「都心部市街地整備」、「福祉」などであった。



議会報告会に最も参加しやすい時間帯はいつですか。



議会報告会に参加しやすい時間帯は、「18 時～20 時」の夜間が最も多く、次いで「10 時～12 時」の午前中、「13 時～15 時」の昼過ぎの順に多かった。



## **(参考資料) スライド**

---





## 議会基本条例を制定（平成23年）

### 「市民にわかりやすい開かれた議会」

- ・ 市民への情報発信と説明責任を果たす
- ・ 市民と情報や意見交換する場を多様に設ける



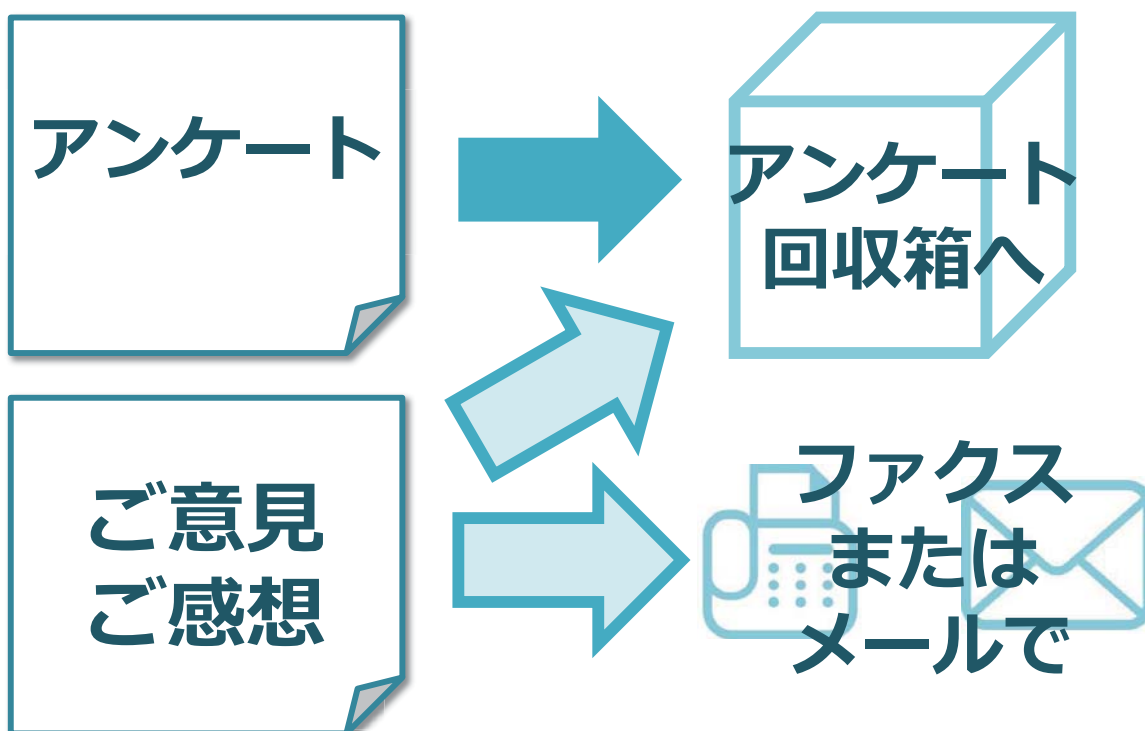
そのひとつが「議会報告会」

## 本日の次第

1. 議会改革の取り組み
2. 9月定例会の報告
  - ① 日程
  - ② 質疑・一般質問
  - ③ 委員会審査
  - ④ 審議結果
3. 質疑応答、意見交換

3

## ご協力をお願い



4

# 議会改革の取り組み

平成23年度	議会基本条例制定 議会報告会の実施 一問一答方式の採用（選択制）
平成24年度	本会議中継の拡充
平成25年度	関係団体との意見交換会の実施
平成26年度	議長交際費の公表 市議会フェイスブックページ開設
平成27年度	政務活動費領収書の全件公表
平成27・28年度	中学生模擬議会の開催

## 「釧路市議会災害対応指針」策定



# 9月定例会の日程

## 主な日程（会期22日間）

9/4 (水)	5 (木)	6 (金)		9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)		17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)		24 (火)	25 (水)
市政報告、提案説明 質疑・一般質問（5人）	質疑・一般質問（5人）	質疑・一般質問（5人）		各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査	各常任委員会審査	採決		各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査	各決算審査特別委員会審査		各会計決算審査特別委員会審査	採決



## 質疑・一般質問



質疑・  
一般質問 1

## 釧路駅の『大改装』に向けた協議の場を

街の顔である釧路駅は、外壁の塗り替えなどの「大改装」は今すぐにでも着手し、できることからやっていくべきである。ＪＲ北海道と協議する正式な場を早急に設けるべきではないか。



ＪＲ北海道と行っている、利用促進を中心とした取り組みの中での協議の場において、提案のあった趣旨を伝えながら、共にまちづくりを考えるという点で意見交換をしていきたい。

9

質疑・  
一般質問 2

## 街路灯の高い安全性確保に向けた対策を

老朽化が進む街路灯の倒壊事故を防ぐため、高い安全性の確保に向けての基準の設定を含めた対策を検討すべきではないか。



国や道から示されている定期点検要領に基づき、緊急性が高いものから補修を行っている。今後も、道路パトロールや市民からの通報など、情報収集を徹底し、安全管理に努めたい。

10

質疑・  
一般質問 3

## 小学校における市立博物館が果たす社会的役割

博物館ではタンチョウと天然マリモ、アイヌ文化に関する資料等も展示されており、1つの施設でこれらを学ぶことは大変有意義であると考えているが、小学校における利用状況について聞きたい。



平成30年度に社会見学などで利用した小学校は10校。郷土文化なども学べる貴重な資料を展示しており、今後も、より多くの学校に利用してもらえるよう、周知に努めたい。

11

質疑・  
一般質問 4

## ボランティア用ごみ袋の配布窓口拡大を

公共の場所でのボランティア清掃などで集めたごみを捨てることのできる「ボランティア用ごみ袋」を、古川町の環境事業課で無料配布しているが、釧路地区4支所でも新たに配布できないか。



本庁の環境保全課でも配布しており、来庁が困難な方には直接自宅へ届けている。配布窓口の拡大については、配布枚数の推移なども注視しながら、関係各課と検討していきたい。

12

質疑・  
一般質問 5

## 市営住宅に設置されている 住宅用火災警報器の更新を

住宅用火災警報器の耐用年数は10年が目安とされているが、市営住宅に設置されている火災警報器は、設置後13年目を迎えることから、早期の更新が必要ではないか。



入居者から故障等の申し出があった場合には個別に対応しているが、更新にかかる年次的な計画を早期に策定し、具体的な対策について来年度から進めていきたい。

13

質疑・  
一般質問 6

## 学校給食センターの建て替え計画について

学校給食センターの建て替えについて、1センター方式を考えていると思うが、複数箇所に建設すべきと考える。また、建て替えの場所を含めた計画はいつまでに策定する予定なのか。



建設、運営両面の効率性の観点から、さまざま検討している。早期の改築整備に向けて建設地の検討を深めるとともに、現在の学校給食センターの維持管理に万全を期していきたい。

14



## 委員会審査

15

総務文教  
常任委員会

## 中学生の授業改善 「先進地との教員交流を」

小中学生を対象とした全国学力・学習状況調査において、中学生の成績が全国平均を下回っている状況を改善する一環として、効果的な授業改善の事例や実績のある先進地との教員交流などの考えはないか。



各学校における検証改善サイクルの見直し、小中学校間の連携強化などの対応を行っている。授業改善につながる先進地の取り組みについては検討していきたい。

16

経済建設  
常任委員会

阿寒・音別地域の市営住宅に係る共益費  
「入居率を考慮し市で負担の検討を」

阿寒・音別地域の市営住宅は、入居率が50%の団地もあり、共益費の負担が大きくなっている。入居率が80%以下になった場合、市が一定程度補助するなどの仕組みが必要と考えるがどうか。



市営住宅の共益費は入居者で負担することとしており、多くの自治体で同様の仕組みとなっている。今後の住宅政策の進め方についても、他自治体の情報を収集していきたい。

民生福祉  
常任委員会

児童虐待防止  
「親への啓発が重要」

児童虐待を防止するためには、親である大人に対する啓発が重要と考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか。



今年度は予防に重点を置き、厚生労働省が進める『愛の鞭ゼロ作戦』にある、虐待が子どもの脳に与える影響などを掲載して、読んだ方の心に入るような内容としており、今後もより一層周知に努めていきたい。

石炭対策・  
関連エネルギー調査  
特別委員会

地産地消型新石炭生産システム導入  
「市から貸付を行う理由は」

釧路コールマインの地産地消型新石炭生産システム導入に関し、なぜ市から4億円もの貸付を行うのか。



今回の事業は地域に大きな影響があると考えており、長期にわたりこの市民炭鉱を存続する環境を整えることが何よりも重要だと判断した。

19

都心部市街地整備  
特別委員会

ゲートウェイの機能  
「8つのエリアとの関係性は」

釧路都心部まちづくり計画（基本構想編）では、8つのエリアをゾーニングしていたが、この度の有識者会議でのゲートウェイ計画コンセプトとそれぞれの地域との関係性はどのようになるのか。



ゾーニングは、それぞれ独特の機能を持っているが、その中でもゲートウェイは玄関口としてメインエリアとなり、各ゾーニングの主要な部分と連携することで機能が強化するものと考えている。

20

# 9月定例会で審議された議案

議案  
48件

可決  
認定  
同意

全会一致 40件

賛成多数 8件

意見書  
6件

可決

全会一致 5件

賛成多数 1件

質疑応答  
意見交換

ご参加いただき  
ありがとうございました





**2019 年度(令和元年度)  
議会報告会開催概要**

2020 年 2 月 10 日発行

発行 釧路市議会

編集 議会広報特別委員会

〒085-8505 北海道釧路市黒金町 7 丁目 5 番地

TEL : 0154-31-4581

FAX : 0154-23-7679

E-Mail : gi-gikai@city.kushiro.lg.jp